

清友

No. 68

2015年4月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



蕪崎市 / わに塚の桜

安倍政権の暴走 STOP!

平和といのちと人権を!

5・3 憲法集会

～戦争・原発・貧困・差別を許さない～

@ 横浜・臨港パーク

【みなとみらい地区】

安倍首相は国会答弁で自衛隊を「我が軍
隊」と呼びました。安倍内閣は、「海外で
戦争する国」への大転換を図り、原発の再
稼働と海外輸出を急いでいます。大企業と
富裕層優遇のアベノミクスにより、貧困と
格差はさらに拡大し、沖縄県民の民意を無
視した辺野古新基地の強権的建設、教育の
国家統制強化、侵略戦争の美化など、平和
といのち、人権を保障する憲法の精神と原
則をふみにじる政策が進められています。
安倍政権の暴走にストップをかけるため、
5月3日の「憲法集会」は、大きな共同行動
として取り組まれます。退職者会は、この集
会の成功へ向けて最大限の協力をしたいと考
えています。5・3集会に是非参加ください。

5.1 日比谷メーデー



退職者会旗のもとデモ行進(今年のメーデー)

残業代ゼロ、生涯派遣など、
労働法制改悪が進められよう
とされています。昨年の賃上も
物価上昇に追いつかず、実質
賃金は毎年下がり続けていま
す。私たちの年金も同じです。
安倍政権が目指す「世界一
企業に有利な国」は「世界一
労働者に過酷な国」を意味し
ます。これに反撃することが、
日比谷メーデーの課題です。
5月1日の日比谷メーデー
は、現役との共闘の場です。
退職者会は今年も全力で臨み
ます。奮って参加ください。

退職者連合春要求

退職者連合は、初めての取り組みとして、春の通常国会の時期に政策制度要求を掲げて政府と政党に働きかけることにしました。



今通常国会へ向けての政策・制度要求

- 1 公的年金制度
 - (1) マクロ経済スライドでの名目下限方式の堅持。
 - (2) 基礎年金拠出期間延長、受給開始年齢選択幅拡大を検討。
 - (3) 年金積立金運用
 - ① 公的年金積立金は、被保険者の利益のため運用すること。
 - ② 株式投資比率拡大方針を撤回し、「社会責任投資」の推進。
 - 2 地域包括ケアシステム
 - (1) 統合された医療・介護ケアシステムとネットワークの確立。
 - (2) サービス提供体制の整備。
 - (3) 人の育成と確保。
 - (4) 地方自治体・事業者・市民との合意形成での推進。
 - 3 医療保険制度
 - (1) 公的国民皆保険制度の堅持。「混合診療」は導入しないこと。
 - (2) 後期高齢者医療制度にかわる新たな制度を作ること。
 - (3) 国保は、都道府県と市区町村連携による保険者機能の強化。
 - (4) 後期高齢者支援金総報酬割化。
 - (5) 受診頻度の少ない加入者に保険料軽減を実施しないこと。
4. 介護保険制度
 - (1) 要支援の新総合事業への移行撤回、予防給付の復元。
 - (2) 新総合事業移行による「基本チェックリスト」の撤回。
 - (3) 重度化防止に向け、中・軽度者サービスへの介護報酬改善。
 - (4) 医療・介護サービスが利用できる暮らしの場の整備・充実。
 - (5) 従事者の処遇の改善と事業者ごとの人件費比率の公開。
 - (6) 認知症高齢者に起因する損害で社会的賠償制度の新設。
 - (7) 給付抑制が過剰にならないようにすること。
 - (8) 老人福祉法による施策の再整備・充実。
- 5 生活保護制度
 - 生活保護基準復元。住宅扶助・冬期加算の切り下げ撤回。
- 6 税制
 - (1) 年金課税では、国民の合意形成を図ること。
 - (2) 法人税の実効税率を引き下げないこと。

退職者会活動日誌

- * 2月12日の第4回幹事会以降3月19日の第11回三役会まで
- ▼ 2月13日、東京高連連全体学習会が田町交通会館で開催され、戸枝会計が参加。▼ 2月15日、清掃・人権交流会江東フィールドワークが枝川朝鮮学校とその周辺で行われ、5名参加。▼ 2月19日、「狭山事件の再審を求める東京集会」が田町交通ビルで開催され、5名参加。▼ 2月20日に行われた「首切りは許さない！権利はゆずらない！東京総行動」に5名参加。▼ 2月20日、一組総支部新春交歓会が四ツ谷の主婦会館プラザ・エフで開催され、堀田会長と戸枝会計が参加。
- ▼ 2月23日、都庁退単会事務局長会議が都庁で開催され、小林事務局次長が参加。▼ 2月25日、「戦争させない学習決起集会」が田町交通ビルで開催され、4名参加。▼ 2月27日、「JAL不当判決抗議最高裁包囲行動」が最高裁前で開催され、2名参加。▼ 3月5日の「演芸を楽しむ会」に17名参加。▼ 3月8日、「反原発★統一行動」が日比谷野外音楽堂と国会周辺で開催され、6名参加。▼ 3月15日、都退協宿泊学習会が箱根路開雲で開催され、戸張副会長が参加。▼ 3月19日、第11回三役会で定期総会議案の検討開始。▼ 事務局会議・事務業務は7回。行事企画等。



お元気ですか 会員近況報告 (追録)

松岡 巖さん (荒川支部)
昭和初期生まれの人間は遠くなりになりました。

小生、昭和4年生まれ、今年の3月で満86歳、定年は平成元年3月。現在は、カメラ片手に散歩するくらいです。野田市(旧関宿)江戸川の堤防近くで野鳥等の写真です。車の運転も卒業し、お御身大切な昨今です。



関宿城博物館

東京清掃退職者送別会

「楽しい人生をおくれた」と参加者

東京清掃主催の退職者送別会が、3月20日、清掃会館ホールで開催されました。

吉田委員長によるねぎらいの詞に続き、堀田会長が東京清掃の歴史にふれて挨拶し、戸枝会計が退職者会の活動内容等を紹介するガイダンスを行い、額副委員長の音頭で乾杯し懇親会に入りました。

東京清掃は、若い役員が増

えて区移管阻止闘争の記憶も薄れがちになっていくことから、最近、「有明1万人集会」の記録ビデオを上映し、学習会を行ったとのこと、懇親会後半で「懐かしいあの人は？」的な感じでビデオを観ました。すっきり盛り上がったところ

で、退職者から想い出を話していただきました。長〜い「ひと言」でしたが、参加者それぞれの東京清掃への想いが込められていました。そして、名残を惜しみつつ、大和田副委員長の閉会挨拶により集いを閉じました。今年も参加者が少なかったことは残念でしたが、楽しい会になりました。



退職者による長〜い「ひと言」



「区移管阻止・有明1万人集会」の記録ビデオを観る



3.8 反原発★統一行動

川内原発 再稼働反対

3.28 さようなら原発大講演会

福島原発事故から4年目の

3月11日を前に、3月8日、「福島を忘れるな！再稼働を許すな！」と、全国で反原発統一行動が行われ、東京では日比谷野音での集会と国会包囲行動に、2万人が結集しました。

福島現地では、3月14日、「原発のない福島を！県民大集会」に約7千人が参加、3月28日には、新宿区文化センターで「さようなら原発大講演会」が開かれました。

各集会で福島現地から、「事故から4年たったが、収束にはほど遠い。12万人もの人た

ちが避難生活を余儀なくされ、故郷に戻れるか、先が見えない。「子どもたちの甲状腺ガンが多発し、汚染水はダダ漏れ状態で、作業現場では労災事故が相次いでいる。」「除染しても効果が薄いにも関わらず、帰還を強い、賠償さえ打ち切ろうとしている。」と、切実な現実が報告されました。

安倍内閣は、川内原発を皮切りに原発再稼働を目論んでいます。安全な原発はありません。地震・火山大国日本に原発はいりません。原発の再稼働は断じて認められません。